

皮膚疾患における細胞極性制御因子の発現解析

2018年1月1日から2022年6月30日までに、皮膚疾患の診断・治療のため、皮膚生検や手術を受けた患者さま

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院皮膚科では「皮膚疾患における細胞極性制御因子の発現解析」という研究を行います。この研究は、2018年1月1日から2022年6月30日までに、当科にて、皮膚疾患の診断・治療のために、皮膚生検や手術を受けられた患者さまの病理組織標本を用いて、細胞極性を制御する因子の発現を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：皮膚疾患における細胞極性制御因子の発現解析
研究予定期間：倫理委員会承認日～2024年12月31日
調査対象期間：2018年1月1日～2022年6月30日
研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 皮膚科 長田 真一

(2) 研究の意義、目的について

正常の皮膚では、表皮を構成する細胞は、規則正しく配列している（これを「細胞極性が保たれている」と言います）のに対し、多くの皮膚疾患ではこの細胞極性が失われているのが観察されます。本研究は、皮膚疾患において細胞極性を制御している因子の発現を調べ、細胞極性の観点から皮膚疾患の発症のメカニズムを明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2018年1月1日から2022年6月30日までに、日本医科大学多摩永山病院皮膚科にて、皮膚疾患の診断・治療目的で、皮膚生検、または手術を受けられた患者さまの病理組織標本を用い、細胞極性に関する因子の発現を解析し、皮膚疾患と細胞極性の関係についての検討を行います。

この研究は、患者さまの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：皮膚生検時、または手術時に切除した病理組織標本

情報：年齢、性別、病変の部位、病理診断名

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：皮膚科 長田 真一
日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局
〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1
電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302
メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp